

特定非営利活動法人 日本バイオインフォマティクス学会
第 23 回理事会議事録

日時 2020 年 8 月 31 日(月)13:00～17:00
場所 オンライン(Zoom を利用)
出席者 岩崎渉理事長、五斗進副理事長、荻島創一理事・幹事、尾崎遼理事・幹事、木下賢吾理事・幹事、白井剛理事・幹事、竹本和広理事、田村武幸理事、元池育子理事、藤渕航理事、山西芳裕理事・幹事、大上雅史理事・幹事、大林武理事・幹事、鎌田真由美理事、木下聖子理事、清水謙多郎理事・幹事、遠里由佳子理事、長井陽子理事、松田秀雄理事、武藤愛理事・幹事
(表決書提出) なし
以上 20 名出席扱い
オブザーバ 松井求監事、遠藤俊徳地域部会長、中川博之地域部会長、倉田博之地域部会長、池松真也地域部会長、浜田道昭幹事、笠原浩太幹事、齋藤裕幹事、奥田修二郎幹事、事務局牛山絵美子
議長 岩崎理事長(定款 35 条による)

配布資料

(審議事項参照資料)

- s01 日本バイオインフォマティクス 学会賞・OJP 選考規定の変更について(大上理事・幹事)
- s02 名誉会員の推薦について(岩崎理事長)

(報告事項参照資料)

- h02-1 年会幹事 2020 年度年会の準備状況について(山西幹事)
- h02-2 年会幹事 2021 年会概要(浜田幹事)
- h03-1 2020 年度(中間)貸借対照表(大林幹事)
- h03-2 2020 年度(中間)活動計算書(大林幹事)
- h03-3 2020 年度(中間)活動計算書(予算対比) (大林幹事)
- h03-4 2020 年度(中間)財産目録(大林幹事)
- h03-5 2020 年度(中間)財産目録-期末対比-(大林幹事)
- h05-1 研究会幹事 2019 年 公募研究会アンケート(岩崎幹事)
- h05-2 研究会幹事 2020 年 公募研究会アンケート(岩崎幹事)
- h07 ダイバーシティ幹事 JSBi diversity report Aug2020(武藤幹事)
- h10 渉外幹事報告(浜田幹事)
- h11-1 連携幹事報告資料(荻島幹事)
- h11-2 連携幹事連携状況表(荻島幹事)
- h12-1 広報幹事 幹事報告(齋藤幹事)
- h12-2 広報幹事 バイオインフォマティクス教育機関一覧(齋藤幹事)
- h12-3 広報幹事 JSBi HP リニューアルについて(事務局より)(齋藤幹事)

- h12-4 広報幹事 JSBi HP デザイン案、サイトマップ案(齋藤幹事)
- h17 総務報告資料(事務局)
- h18-1 会長報告 メール審議議事録(期間 2020.03-08)(岩崎理事長)
- h18-2 会長報告 JSBi の現況(岩崎理事長)
- h24 沖縄地域部会 活動報告資料(池松地域部会長)

(公募研究会報告資料)

- 公募 01 2019-06 尾崎先生 RNA フロンティアミーティング
- 公募 02 2019-03 中川先生 第 27 回バイオメディカル研究会(関西地域部会)
- 公募 04 2019a-12 平岡先生 生命情報科学若手の会第 11 回研究会
- 公募 05 2019a-13 山本先生 第 2 回メタボロミクスソフトウェア講習会
- 公募 06 2019a-11 倉田先生 九州地域部会セミナー

岩崎理事長、五斗副理事長より第 23 回理事会開催にあたって挨拶があり、議事録署名人として尾崎理事、五斗副理事長が指名され、満場一致で承認された。

議案

〈審議事項〉

第一号議案 日本バイオインフォマティクス 学会賞・OJP の選考規定の変更について

大上理事・幹事より別紙 s01 を基に「日本バイオインフォマティクス学会賞選考規程」ならびに「Oxford Journals - Japanese Society for Bioinformatics Prize 選考規定」について、その年の年会が開催できない可能性などを考慮した変更をしたい旨が説明された。

日本バイオインフォマティクス学会賞選考規程

【現行】

第9条 この賞の受賞者は当該年度の年会におけるこの賞の授賞式に出席する義務を有するとともに、受賞講演を依頼された場合にはそれを受諾する義務を有する。

【変更後】

(受賞者の義務)

第9条 この賞の受賞者は、この賞の授賞式への出席ならびに受賞講演を依頼された場合には、それらを受諾する義務を有する。

(その他)

第 10 条 その他、本規定で対応できない事項については理事長が定める。

以上の説明を受け、慎重に審議した結果、出席した理事の議決権の過半数を持って異議なく可決された。

Oxford Journals - Japanese Society for Bioinformatics Prize 選考規定

【現行】

(受賞者の特典と義務)

第9条 この賞の受賞者には賞状、副賞として賞金三万円、当該年度の翌年の Bioinformatics 誌無料購読の

特典、当該年度の翌年度の年会費免除の特典が与えられる。

第10条 この賞の受賞者は当該年度の年会におけるこの賞の授賞式に出席する義務を有するとともに、受賞講演を依頼された場合にはそれを受諾する義務を有する。

(その他)

第11条 第9条の賞金および Bioinformatics 誌無料購読の特典は Oxford University Press からの寄付金及び無償で提供されるサービスに基づきこの法人が運営する。

【変更後】

(受賞者の特典と義務)

第9条 この賞の受賞者には賞状、副賞として賞金三万円、当該年度の翌年の Bioinformatics 誌無料購読の特典、当該年度の翌年度の年会費免除の特典が与えられる。

第10条 この賞の受賞者は、この賞の授賞式への出席ならびに受賞講演を依頼された場合には、それらを受諾する義務を有する。

(その他)

第11条 第9条の賞金および Bioinformatics 誌無料購読の特典は Oxford University Press からの寄付金及び無償で提供されるサービスに基づきこの法人が運営する。

第12条 その他、本規定で対応できない事項については理事長が定める。

以上の説明を受け、慎重に審議した結果、出席した理事の議決権の過半数を持って異議なく可決された。

第二号議案 名誉会員の推薦について

岩崎理事長より名誉会員推薦に関する覚書に基づき別紙 s02 を基に新規名誉会員として高木利久会員・宮野悟会員を理事会として推薦したい旨が説明された。慎重に審議した結果、満場一致で可決され、2021 年 3 月の総会に議案として付議することが承認された。

〈報告事項〉

【各幹事、会長、総務からの報告】

- 1 会長補佐(木下賢吾理事・幹事、清水理事・幹事)
特に報告事項は無かった。
- 2 年会(五斗副理事長・幹事、山西理事・幹事、浜田幹事)
山西理事・幹事より別紙 h02-1,2 に基づき、年会の報告があった。特に、初のオンライン開催で、通常の参加者、招待講演者、一般公開の参加者、データ養成入門の参加者を含め、事前参加登録者数が約 1000 名となったことが報告された。
浜田幹事より次回の年会は 2021 年 9 月 27 日(月)～ 29 日(水)に早稲田大学国際会議場井深大記念ホール(東京都新宿区)にて開催予定であることが報告された。
- 3 会計(大林理事・幹事、笠原幹事)
大林理事・幹事より、別紙 h03-1～5 に基づき、会計に関する報告が行われた。
- 4 認定試験(白井理事・幹事)
白井理事・幹事より、今年度の認定試験の開催形態を CBT 試験に移行すること、試験日が 2021 年 2 月 1 日(月)～14 日(日)になることが報告された。
- 5 研究会(岩崎理事長・幹事)
岩崎理事長・幹事より、別紙 h05-1,2 に基づき、研究会の報告があった。新型コロナウイルスに感染症により延期になった研究会は、持ち越しはせず、来年度の公募研究会募集時に改めて応募してもらうことが確認された。
- 6 ニュースレター(尾崎理事・幹事、松本幹事)
尾崎理事・幹事より、ニュースレター第 38 号を発行したこと、ニュースレターおよびロゴのデザインをリニューアルしたこと、デザインはウチダヒロコ氏に依頼したことが報告された。また、現在、JSBi Bioinformatics Review 発行に向けて準備を進めていること、執筆者の積極的な推薦の依頼等の報告があった。
- 7 ダイバーシティ推進(武藤理事・幹事)
武藤理事・幹事より、別紙 h07 に基づき、男女共同参画に関するダイバーシティ推進の報告があった。男女共同参画学協会連絡会の提言・要望書およびアンケートワーキンググループへの学会としての関与について意見交換を行い、後日メールにて審議することとなった。
- 8 ISCB(岩崎理事長・幹事)
岩崎理事長・幹事より、ISCB Board of Directors として3年間務めることになったことが報告された。またアジアとして大規模な国際会議「Asian Superconference 2023(仮称)」を 2023 年に開催予定であることが報告された。

- 9 若手(大上理事・幹事)
大上理事・幹事より、Oxford Journals – Japanese Society for Bioinformatics Prize の受賞者について報告があり、推薦の協力について改めて依頼があった。また、岩崎理事長より日本バイオインフォマティクス学会賞受賞者について報告があった。
- 10 渉外(浜田幹事)
浜田幹事より、別紙 h10 に基づき、賛助会員の特典利用状況や、ホームページのバナー広告利用状況についての報告があった。
- 11 連携(荻島理事・幹事)
荻島理事・幹事より、別紙 11-1,2 に基づき、他学会・研究会との連携について報告があった。また、連携幹事の引継ぎ資料を作成中であることが報告された。
- 12 広報(齋藤幹事)
齋藤幹事より、別紙 12-1~4 に基づき、新たなホームページを作成するために見積もり等行っていることについて報告があった。
- 13 人材育成(有田幹事、白井理事・幹事)
特に報告はなかった。
- 14 活性化(奥田幹事)
山西理事・幹事より奥田幹事への引き継ぎについて報告があった。
- 15 個別化医療推進(木下賢吾理事・幹事)
木下理事・幹事より、新型コロナウイルスの影響により、個別化医療推進に関する会議開催が遅れていることが報告された。
- 16 Genome Informatics(岩崎理事長・幹事)
特に報告はなかった。
- 17 総務報告
岩崎理事長より別紙 h17 に基づき、会員数等の基本情報について報告があった。特に、13 年ぶりに会員数が 650 名を超えたことが報告された。
- 18 会長(岩崎理事長)
岩崎理事長より、別紙 h18 に基づき、学会の現況について報告があった。特に日本バイオインフォマティクス学会賞の名称を英訳すると、既存の Oxford Journals – Japanese Society for Bioinformatics Prize (OJP)

と名称が被って紛らわしい点について確認があり、すぐに名称を変えるべきではないが留意すべき点として報告された。

【地域部会長からの報告】

19 北海道地域部会(遠藤地域部会長)

特に報告はなかった。

20 東北地域部会(木下地域部会長)

特に報告はなかった。

21 関西地域部会(中川地域部会長)

中川地域部会長より、8月18日(火)に開催された第28回バイオメディカル研究会「医療経済と健康寿命のインフォマティクス」についての報告があった。学会としてZoomライセンスを保持してはどうかと提案があり、今後の開催状況により判断することとなった。

22 中国・四国地域部会(妹尾地域部会長)

特に報告はなかった。

23 九州地域部会(倉田地域部会長)

特に報告はなかった。

24 沖縄地域部会(池松地域部会長)

池松地域部会長より、別紙 h24 に基づき、沖縄県のバイオインフォマティクス人材育成プログラムにバイオインフォマティクス技術者認定試験の活用を進めていることが報告された。

以上

以上により議事が終了し、議長は17時00分閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするために、議長および議事録署名人において次に記名押印する。

2020年8月31日

特定非営利活動法人日本バイオインフォマティクス学会

理 事 長 岩崎 渉 印

議事録署名人 尾崎 遼 印

議事録署名人 五斗 進 印